エコアクション21
2025年度 環境経営レポート
(2024.12.1~2025.11.30)
作成日 2026.4.30



古林工業株式会社

1.まえがき …… 3

2.会社概要 …… 4

3.環境経営方針 …… 5

古林工業株式会社ＥＡ２１実施体制図
実施体制役割　責任・権限

4.環境経営目標と実績 …… 8

2025年度　環境経営目標
環境負荷実績　5年間の推移
2025年度の目標と実績比較
2026年度　環境経営目標
中長期　環境経営目標（2027年度）

5.主な環境経営活動計画の内容 …… 14

太陽光発電システム
厚生労働大臣表彰 優良賞受賞
ベトナム人技能実習生の受入
レンタルウエス導入
秋の行楽
福祉活動
献血活動
厚生クラブ活動
自衛消防隊・社内消火訓練

6.環境経営活動の取組結果と評価　次年度の取組内容 …… 21

7.環境関連法規等への違反、訴訟等の有無 …… 22

8.代表者による全体評価と見直しの結果・指示 …… 23

1．まえがき

2025年の世界の平均気温は14.97℃となり、産業革命前からの上昇幅は約+1.47℃と観測史上3番目を記録しました。日本においても、夏の平均気温が統計開始以来の過去最高を更新し、平年を2.36℃も上回るという、かつていない猛暑に見舞われました。

こうした気候変動の激甚化は、もはや遠い未来の話ではなく、私たちの事業活動や社員の健康を脅かす「喫緊の課題」となっています。

このような環境下において、私たちは、「事業活動のあらゆる分野において資源を大切にし、自然及び地域環境との調和と向上を図る」という基本理念のもと、全社を挙げて環境負荷の低減に努めてまいりました。2025年度は、CO_2排出量を982tから857tへと着実に減少させたほか、水使用量や廃棄物の削減においても日々の積み重ねを継続いたしました。特に2024年7月に稼働を開始した奈良工場の太陽光発電システムは、2025年度の1年間で月平均47.4%の電力使用量削減を達成し、売電収入という形でも+668,000円と確かな成果を上げています。

2026年度は、これらの実績を維持・発展させることはもちろん、とりわけ「働く環境の改善」に力を注いでまいります。記録的な猛暑から社員を守るべく、誘引ファンや換気装置の増設、屋根への遮熱塗料の塗布、冷蔵服の導入といったハード面での熱中症対策を加速させ、より安全で快適な労働環境を追求していく所存です。

私たちがエコアクション21（EA21）を取得して、今年で21年目を迎えます。長きにわたり積み上げてきた環境経営の意識をさらに深め、地域社会に貢献し、そして何より「社員が誇れる企業」であり続けるために、私たちは一歩ずつ歩みを進めてまいります。

2. 会社概要

(1) 事業所名及び代表者

古林工業株式会社

代表取締役社長　古林　達也

(2) 所在地

・本社・工場　大阪市西成区津守３丁目３番１７号
(本社所属の鶴見橋工場：大阪市西成区津守１丁目６番２２号)
・奈良工場　奈良県橿原市大垣町１１番地の１
・関東営業所　千葉県浦安市鉄鋼通り１丁目７番１８号

(3) 事業内容及び規模

・鋼製突合せ溶接式管継手の製造並びに販売
・主要製品生産量(年間)：944.9t(本社 831.9ｔ、奈良工場 113.0ｔ)
・従業員：119人(本社：104人、奈良工場：10人、関東営業所：5人)
・延建家面積：17,183㎡
(本社:13,762㎡、奈良工場 2,507㎡、関東営業所 914㎡)

(4) 環境管理責任者氏名及び担当者の連絡先

環境管理責任者	業務部長代理	船井　正浩
担当者	本社工場課長	滝口　俊平
	第三課副長	小泉　貴志
	技術課主任	河上　敦子
	システム課	青木　耀亮
連絡先	電話 06-6659-1839	
	FAX 06-6658-7489	

ＥＡ２１認証登録内容
登録番号：００００８８８
登録日：２００６年　７月２０日
事業活動：鋼製突合せ溶接式管継手の製造並びに販売
対象事業所：本社・工場、奈良工場、鶴見橋工場、関東営業所



3．環境経営方針

(1) 理　念

事業活動のあらゆる分野において、資源を大切にし、自然及び地域環境との調和と向上を図る。

(2) 基本方針

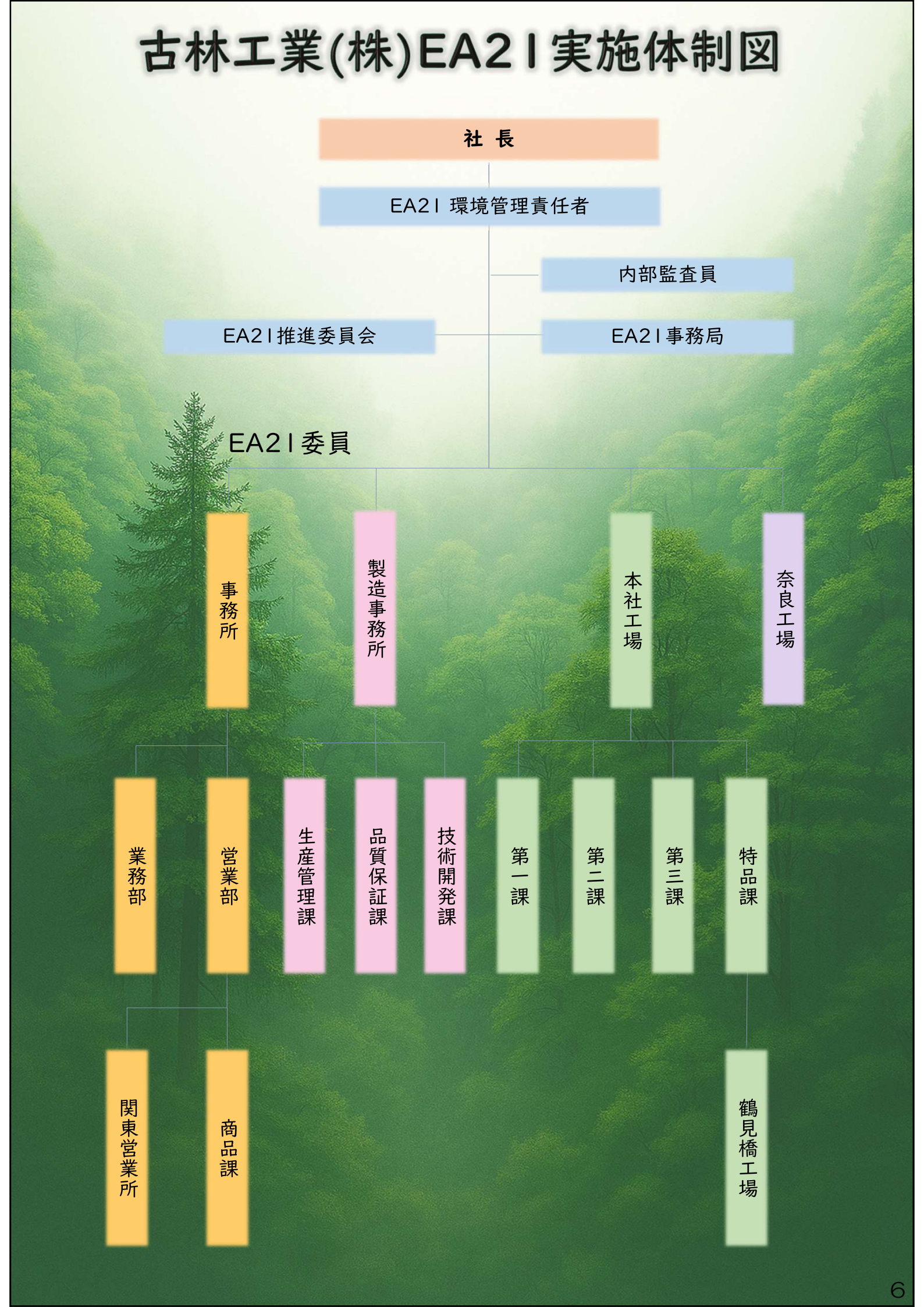
1．環境マネジメントシステムを構築し、全員で継続的に環境改善活動を推進する。
2．環境関連法規等の要求事項を遵守する。
3．資源の有効利用を図るため不適合品及び廃棄物の削減、節水を推進する。
4．地球温暖化を抑えるための省エネルギーを推進する。
5．化学物質使用量の管理、環境配慮型製品の購入・開発を通じて環境保全を推進する。
6．周辺地域の美観づくりを推進する。
7．この方針は全従業員に周知すると共に一般にも公表する。

２００５年１２月　１日　制定
２０１８年　４月１９日　改定

古林工業株式会社　代表取締役社長 古林 達也



古林工業(株)EA21実施体制図



実施体制役割　責任・権限

① 社長・・・・・・・・・・・a. ＥＡ２１に関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
b. ＥＡ２１の実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技術者を提供する。
c. 実施体制を構築し、全従業員に周知する。
d. 環境管理責任者を任命する。
e. 代表者による全体の評価と見直しを実施する。
f. 環境方針の設定・見直し及び従業員へ周知を行なう。
g. 経営における課題とチャンスを明確にする。

② 環境管理責任者・・・・・a. 環境マネジメントマニュアルを構築し、実施し、管理する。
b. 法規制等の要求事項登録簿を承認する。
c. 環境経営目標設定書及び環境活動計画を承認する。
d. 環境活動の取組結果を代表者へ報告する。

③ ＥＡ２１事務局・・・・・a. 構成：環境管理責任者、ＥＡ２１事務局員。
b. 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施。
c.「法的及びその他の要求事項登録」原案の作成。
d. 関連法規最新のチェック。
e. 全社環境活動計画実績集計。
f. 各種データの作成及び保存。
g. 環境経営レポート原案作成。
h. 環境関連の外部コミニケーションの窓口。
i .ＥＡ２１推進委員会議事録の作成、保管。
j. 特定された共通項目の手順書作成及び管理。

④ ＥＡ２１推進委員会・・・a. 構成：環境管理責任者、ＥＡ２１事務局、各部署別ＥＡ２１推進委員及び
必要により環境管理責任者が指名した者。
b. 環境計画推進状況のチェック及び監査。
c. 環境経営目標設定書の作成。
d. 環境活動計画の作成及び周知に関する事項。
e. その他、環境活動に関する事項。

⑤ 内部監査員・・・・・・・a. 環境に関する内部監査の実施。
b. 代表者への報告。

⑥ ＥＡ２１推進委員・・・・a. 自部門における環境経営方針の周知。
b. 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。
c. 自部門に関連する環境経営目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告。
d. 自部門の問題点の発見、是正・予防処置。
e. 各部門長への報告。

4．環境経営目標と実績

4-1．２０２５年度　環境経営目標

二酸化炭素排出量削減
2024年度実績の維持

総　量
981.8 t-CO_2
原単位
0.648 t -CO_2/t

電気使用量削減
2024年度実績の維持

総　量
1506.3 MWh
原単位
1149.6 kWh/t

化石燃料使用量削減
2024年度実績の維持

総　量
6834.9 GJ
原単位
5216.5 MJ/t

水使用量削減
2024年度実績の維持

3333.5 m^3

一般廃棄物排出量削減
2024年度実績の維持

9.2 t

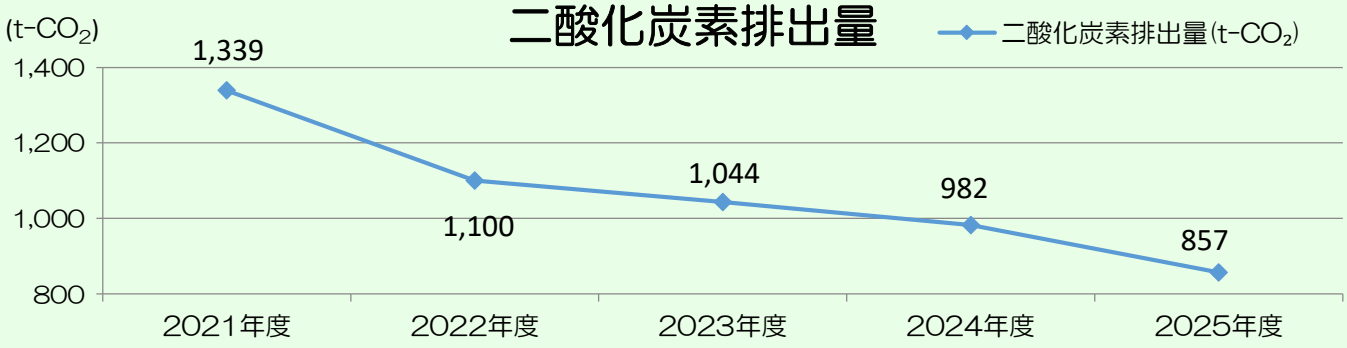
環境配慮型製品の開発・増産
環境配慮製品(FG、FL、RG加工)の生産性UP

グリーン購入の促進
2024年度実績の維持

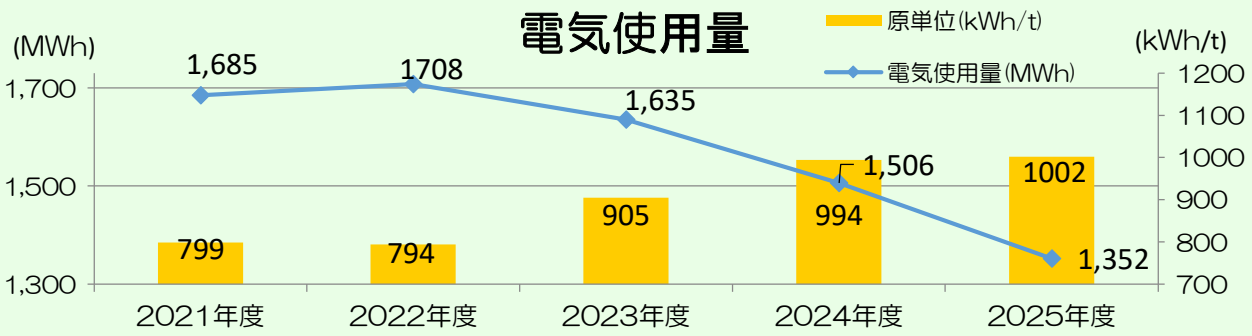
(金額ベース)
34.8%

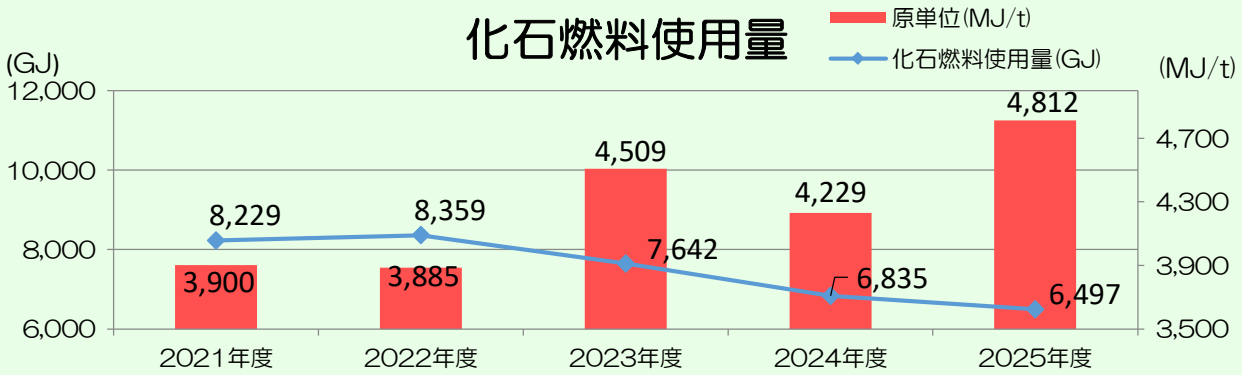
周辺地域の清掃・美化
月2回の清掃活動を継続

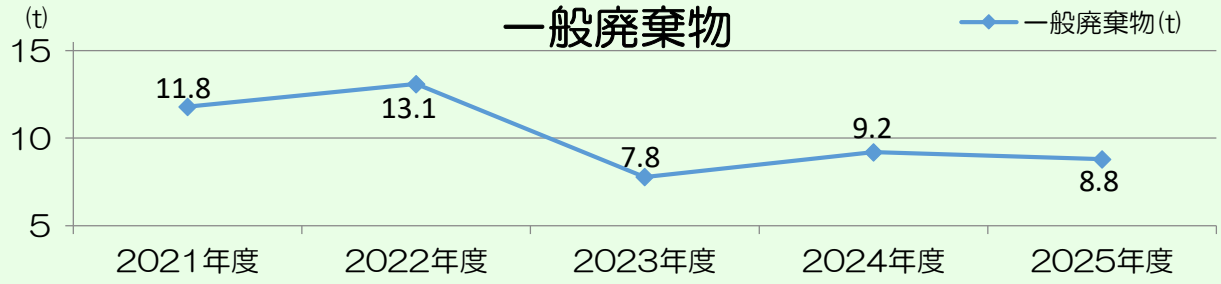
4-2. 環境負荷実績 5年間の推移(全社)

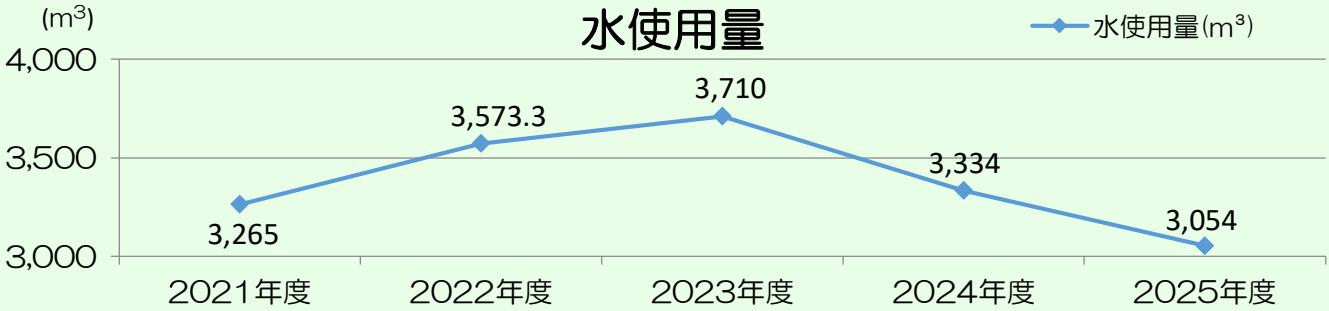


※電気使用量CO2換算単位の係数はアーバンエナジーの0.380（kg-CO_2/kWh）を使用
関東営業所では大和ハウス工業の0.380（kg-CO_2/kWh）を使用





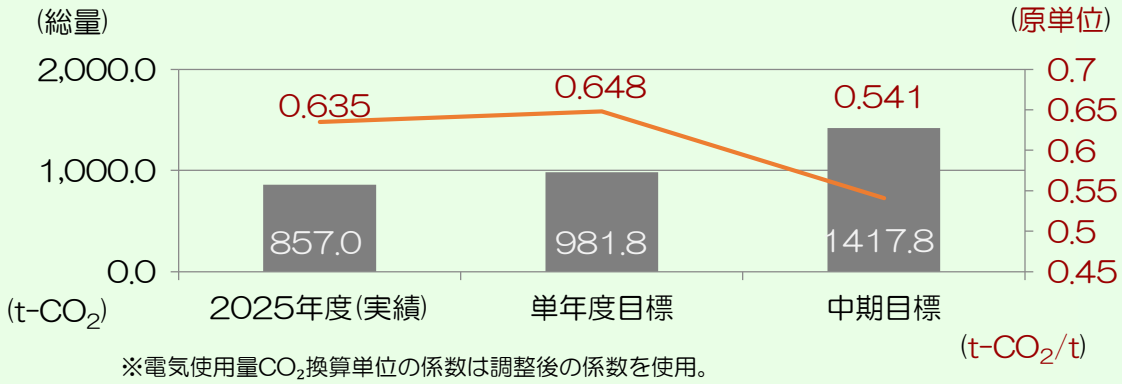




取組項目	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績
グリーン購入の推進	30.0% (金額ベース)	33.3% (金額ベース)	36.0% (金額ベース)	34.8% (金額ベース)	30.3% (金額ベース)
周辺地域の清掃･美化	100%実施	毎月２回実施	毎月2回実施	毎月2回実施	毎月2回実施
環境配慮型製品の開発･増産	不良率0.59%	不良率0.86%	不良率0.99%	部署毎の課題取組	部署毎の課題取組

4-3．2025年度の目標と実績比較

二酸化炭素排出量削減

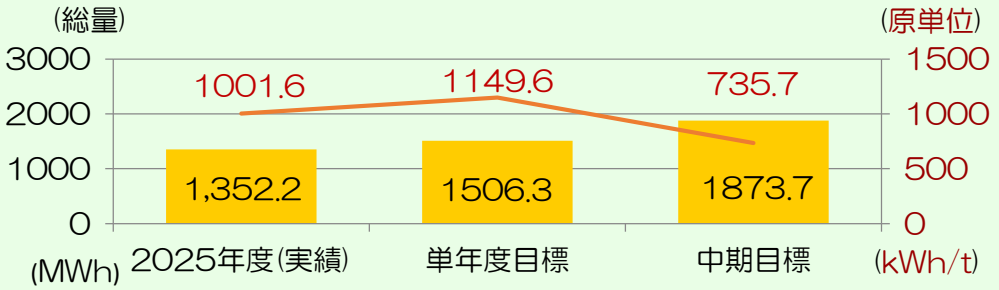


※電気使用量CO_2換算単位の係数は調整後の係数を使用。

総量 **達成**

原単位 **達成**

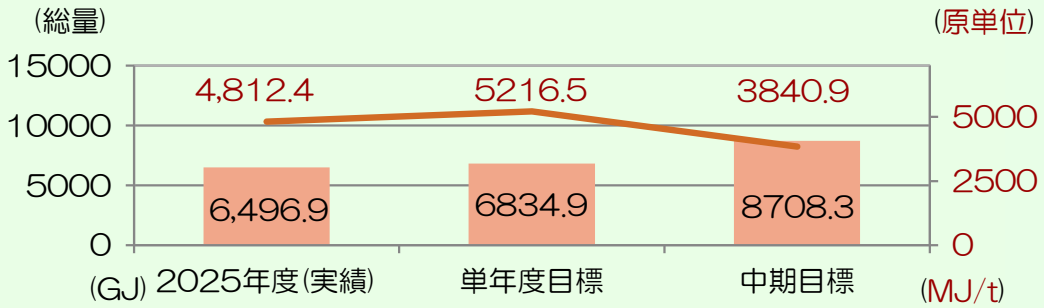
電気使用量削減



総量 **達成**

原単位 **達成**

化石燃料使用量削減

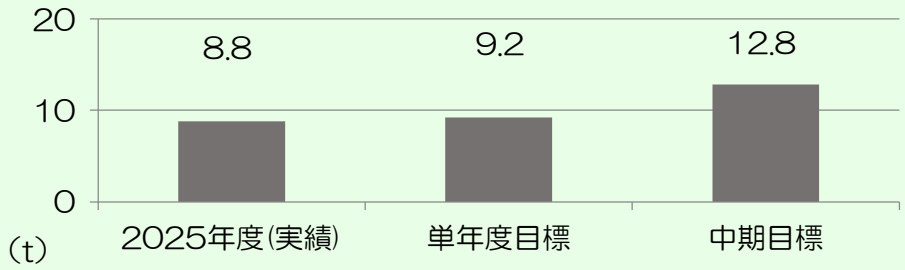


総量 **達成**

原単位 **達成**

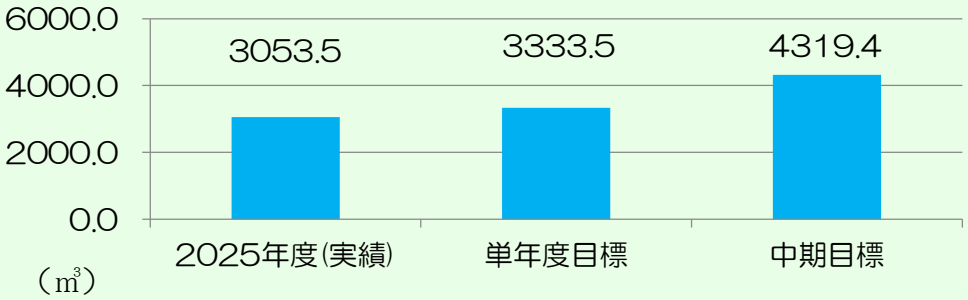


一般廃棄物排出量削減



達成

水使用量削減



達成

グリーン購入の促進(金額ベース)

単年度目標
34.8%

→

2025年度実績
30.3 %

未達成

環境配慮型製品の開発・増産(各部署毎の取り組み)

第 一 課・90E(S)のパート面かじりキズの手直し個数削減…… 達成

第 二 課・RGのサイクルタイム短縮…… 未達成

第 三 課・FL/RGの塗装,表示,梱包で不適合減少…… 達成

特 品 課・RGスクラップ数の減少…… 達成

製造務所・新FGの生産体制の確立…… 達成

本事務所・FG継手の欠品減少と販売重量対前年比20%UP……未達成

奈良工場・RG研磨手直し個数の削減…達成



4-4．2026年度　環境経営目標

2026年度は、全て2025年度実績を目標とします。
対前年比とすることで増減をわかりやすくします。

二酸化炭素排出量削減

2025年度実績を維持

総　量

857.0 t-CO_2

原単位

0.635 t -CO_2/t

電気使用量削減

2025年度実績を維持

総　量

1352.2 MWh

原単位

1001.8 kWh/t

化石燃料使用量削減

2025年度実績を維持

総　量

6496.9 GJ

原単位

4813.1 MJ/t

水使用量削減

2025年度実績を維持

総　量

3053.5 m^3

一般廃棄物排出量削減

2025年度実績を維持

総　量

8.8 t

環境配慮型製品の開発･増産

環境配慮製品(FG,FL,RG加工)の生産性UP

周辺地域の清掃・美化

- 月2回の清掃活動を継続
- 北倉庫の整備による緑地の拡大

4-5. 中長期　環境経営目標（2027年度）

二酸化炭素排出量削減

総　量

2023年度目標より3.56%減

1,417.8 t-CO_2

原単位

2023年度目標値の10%減

0.541 t -CO_2/t

電気使用量削減

総　量

2023年度目標値を維持

1,873.7 MWh

原単位

2023年度目標値の5%減

735.7 kWh/t

化石燃料使用量削減

総　量

2023年度目標値を維持

8,708.3 GJ

原単位

2023年度目標値の5%減

3,840.9 MJ/t

水使用量削減

総　量

2023年度目標値を維持

4,319.4 m^3

環境配慮型製品の開発･増産

環境配慮製品
（FG,FL,RG加工）の生産性UP

一般廃棄物排出量削減

総　量

2023年度目標値の5%減

12.8 t

グリーン購入の促進

31.5%（金額ベース）

周辺地域の清掃・美化

月2回の清掃活動を継続

2025年度実績において達成しているものもありますが、
未達成項目もあるため、継続して同じ中長期目標にしています。

5. 主な環境経営活動計画の内容

1. 電気使用量の削減



- コンプレッサー、エアー漏れの点検・修理
- 不要照明の消灯
- 非稼動時（段取･調整を含む）のポンプ･モーターの停止
- 更新時省エネ設備の検討
- 太陽光発電設備の運用（奈良工場）

2. 化石燃料使用量の削減



- 熱処理炉稼動の効率化、条件見直し
- マンドレルキズの防止
- 設備トラブルの改善

3. 廃棄物の削減



- ペーパレスの推進（電子化）
- 廃棄物の分別
- 配管バルブ等の油漏れの点検･修理
- レンタルウエスを活用し、使い捨てウエス使用量の削減

4. 水使用量の削減



- 水漏れ箇所の点検･修理
- 工場内ポスターを更新し水量削減を啓蒙

5. 周辺の美化



- １ヶ月に２回、工場周辺の清掃実施・植栽の実施
- 半年に１回、南津守桜公園周辺の清掃実施

6. 化学物質使用量の管理



- 製品塗料の適正管理を毎月確認・記録、及び年一回行政への届け出
- 化学物質管理者の設置

7. グリーン購入の推進



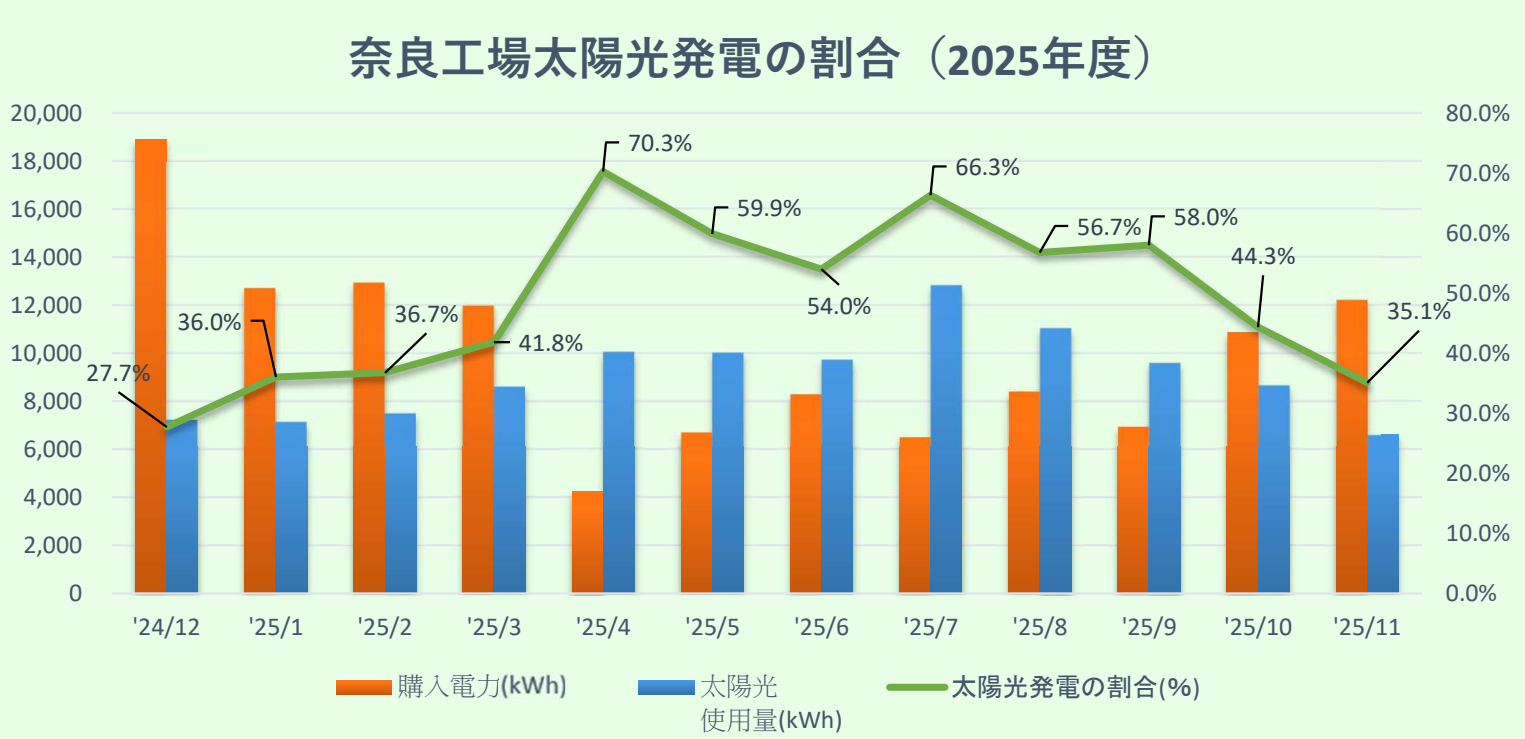
- 一定範囲(文房具関連)にて手順書に基づいて
  グリーン購入を行い、金額ベースでの現状把握

8. 環境配慮型製品の開発･増産



- 環境配慮型製品(ＦＧ、ＦＬ、ＲＧ)の増産に取り組む

奈良工場 太陽光発電システム



奈良工場	2024年度	2025年度	前年比	削減率
電気使用量（kWh）	192,565 kWh	120,757 kWh	71,808 kWh	37.3%

全社	2024年度	2025年度	前年比	削減率
電気使用量（kWh）	1,487,284 kWh	1,334,204 kWh	153,079 kWh	10.3%

前年度比での削減率（奈良工場）：37.3%
前年度比での削減率（全社）：10.3%
総電気使用削減量：153,079 kWh
年間で45.8ｔのCO_2を削減できました。
杉の木約3,270本が
１年間に吸収するCO_2量に相当します。



令和７年度　厚生労働大臣表彰　優良賞受賞



安全衛生活動を積極的に取り組み
約13年をかけて
無休業災害記録5,000日を達成。
その成果が評価され、
優良事業所として2025年度
厚生労働大臣表彰・優良賞を
受賞いたしました。


表彰状

優良賞

古林工業株式会社　本社工場　殿

貴事業場は労使協力して労働安全衛生活動を活発に推進し安全衛生水準が特に優秀で他の模範であると認められますよってここに表彰します

令和七年　七月一日

厚生労働大臣　福岡資麿

今後は次の目標である
無休業災害記録8,000日達成に向け
これからも安全衛生水準の向上に
努めてまいります。

ベトナム人技能実習生の受入



現在、ベトナムから13名が勤務
しており、皆明るく働き者で
日々活躍してくれています！

レンタルウエス導入

「清掃品質の向上、廃棄物削減、衛生水準･利便性向上」
を目的とし利用開始。
使い捨てウエスと使い分けることで、
ウエスの廃棄量が約 20 %減少しました。











秋の行楽　～食事会～



ホテル日航大阪で食事会♪
皆さん笑顔が多く、楽しい会でした。





福祉活動（こども食堂支援）

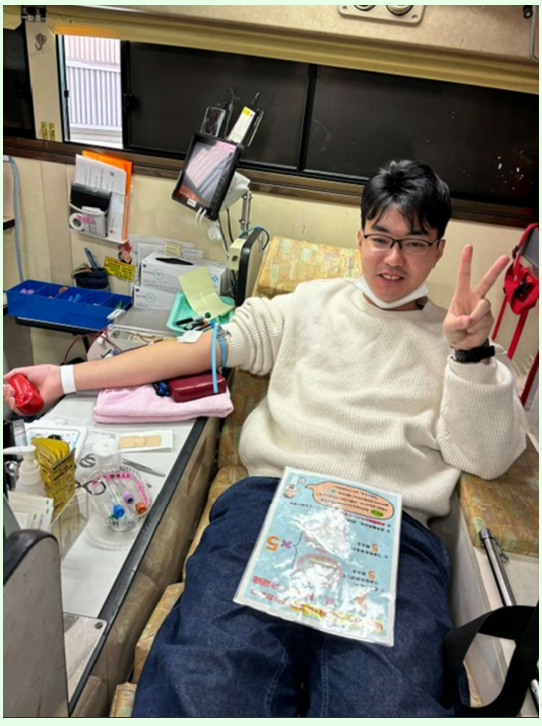


こども食堂支援自動販売機を
６年前から導入。
65万円が21団体に
寄付されました。
(R7の実績報告)



献血活動

毎年本社工場にて献血を実施
今回で26回目となりました。







厚生クラブ活動



他にも１３種類の様々なクラブがあり
楽しく交流をはかっています。















自衛消防隊　社内消火訓練

春と秋に自衛消防隊による消火訓練を行っています。









10月に消防技術大会、可搬式ポンプの部に参加しました。







6．環境経営活動の取組結果と評価
次年度の取組計画

・2025年6月10日と11日の2日間、本社､奈良工場と関東営業所について、EA21中間審査を受審しました。審査16項目に対し、適合14項目、A判定2項目となりました。

⑴ 2027年度までの中期目標について2024年度実績で達成済のため、中期計画も見直すことを推奨されました。
→この2年間においては北倉庫建設のため減産したものであり次年度も目標を維持とします。

⑵ 奈良工場危険物倉庫の状況確認、不要なものを処分し、管理方法を見直し届出数を超えないような手順に改善するよう推奨されました。
→奈良危険物倉庫内の使い古しの塗料缶など不要なものを適正に処分しました。

・二酸化炭素排出量削減については、2024年7月奈良工場に太陽光発電を設置した効果が一年を通した結果として反映されました。トータルとして12.7%の減少となり、原単位でも2%減ではありますが達成となりました。
・2025年度も北倉庫建設工事があり生産調整を行いました。そのため月次の原単位で未達の月もありましたが、電気使用量・化石燃料使用量ともに目標達できました。
特に電気使用量は、奈良工場太陽光発電の結果、奈良年間電力使用量の47.4%を太陽光で賄え、新電力＋売電で1,132万円のコストダウンとなりました。
・一般廃棄物と水使用量は達成していますが、生産量が予定より少なかった事が影響していると思われます。
・グリーン購入については未達となりましたが、購入資材のまとめ買いの時期による変動が大きい為、次年度から活動計画より除外します。
・周辺地域の清掃・美化については、計画通り実施できました。
次年度は桜の季節や落葉の時期にも合わせて実施できるよう取り組みます。
・環境配慮製品の開発・増産につきましてはFG加工機が２台となり多品種対応および量産が可能となりましたので、拡販に向けた営業活動を行います。

その他（BCP対策等）
・雨漏り修理（BCP対策）としてC棟屋根をカバー工法で囲いましました。
・本社工場防暑対策としてC棟にファン及び排気用換気扇を稼働させました。
・ 4月・11月に社内消火訓練を実施しました。（11月は西成消防署立合い）
・ 11/5大阪880万人訓練に参加実施、シェイクアウト訓練も同時に実施しました。
・北倉庫建設が完了し、緑地も増えました。今後は木造倉庫の在庫を移動させていきます。
・食堂照明のLED化を行います。

7．環境関連法規等への違反訴訟等の有無

1）法的義務を受ける主な環境関連法規制等は以下の通りです。

法規制等の名称	該当する要求事項	関連条例による規制	該当する設備・項目
大気汚染防止法	特定施設の届出 ばい煙排出、基準等の遵守	—	金属製品の熱処理 本社２台
下水道法	・特定施設の使用開始の時期 ・水質測定、記録 ・排水基準等の遵守 ・事故時の応急措置、届出	大阪市条例	鶴見橋工場 酸洗設備
水質汚濁防止法(改正法)	・特定施設等の届出 (水質汚濁防止法第5条第3項に基づくもの)		鶴見橋工場
浄化槽法	・法定検査 ・保守点検	奈良県条例	奈良工場浄化槽（分離ばっ気型）
騒音規制法	・特定施設の届出	(大阪市条例)	空気圧縮機 液圧ﾌﾟﾚｽ(矯正ﾌﾟﾚｽを除く) 丸のこ盤 [大阪市の条例により] 液圧ﾌﾟﾚｽ ブラスト
振動規制法	・特定施設の届出	(大阪市条例)	
廃棄物処理法	一般廃棄物 ・収集業者の許可証確認(写し保管)	—	一般廃棄物
	産業廃棄物 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告 ・保管基準 60㎝×60㎝以上表示 ・委託基準 収集運搬･処理業者との契約	—	廃油 廃プラスチック 汚泥 水銀使用製品 木くず 家電OA機器等
自動車リサイクル法	使用済となった自動車を引取り業者に引渡さなければならない リサイクル費用を資金管理法人に対し預託しなければならない	—	本社５台、関東営業所１台
家電リサイクル法	特定家庭用機器をなるべく長期間使用し、廃棄物となることを抑制する 廃棄物として排出する場合は、運搬する者等に適切に引渡し、料金の支払いに応じる	—	テレビ　冷蔵庫　洗濯機 本社　6　11　1 奈良　1　1　1 関東　1　1　—
PCB廃棄物特別措置法	マニュフェスト保存(５年) (A票、B2票、D票、E票)	—	
毒物及び劇物取締法	ふっ化水素、硝酸、硫酸 保管、盗難防止の措置	—	鶴見橋工場
消防法	危険物貯蔵施設の届出	—	少量危険物貯蔵所 危険物屋内貯蔵所 消防用設備等
フロン排出抑制法	確実な回収･破壊される措置、その他特定製品に使用されているフロン類の排出抑制の為の措置。 フロン類回収業者(登録業者)に回収依頼書又は委託確認書を交付し、写しを保存(3年) 第1種特定製品(業務用エアコン等)について、管理者による適切な場所への設置・維持、機器の点検、漏洩防止・未修理での充填禁止、点検等の履歴の保存	—	関連設備数　ｽﾎﾟｯﾄｸｰﾗｰ　冷水機 本社　45　6 奈良　18　1 関東　2　0 業務用エアコン　本社　20 奈良　4 第1種特定製品　本社　4
PRTR(化管法) 特定の化学物質の環境への排出量などの把握など及び管理の改善の促進に関する法律	第１種指定化学物質 トルエン、キシレン、エチルベンゼン排出量等の把握及び報告	大阪府条例	塗装設備
電気事業法	自主保安体制の確立 ・技術基準の維持 ・保安規定の作成遵守 ・主任技術者の選任 ・定期自主点検	—	受電設備 本社工場(東工場含む) 奈良工場
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	公害防止管理者の選任及び届出 （液圧プレスの加圧能力2941KN以上の設備が本社工場にあるため、振動関係の公害防止管理者が必要） 又、本社工場は常時使用する従業員が21人以上である為、公害防止統括者の選任が必要。奈良工場は対象施設がない為特定工場では有りません	—	液圧ﾌﾟﾚｽの加圧能力が2941KN以上(矯正ﾌﾟﾚｽを除く) 公害防止統括者：本社工場長
高圧ガス保安法	特定高圧ガス=液化石油ガス(LPG) LPG3000kg以上	—	奈良工場が最大貯蔵量2000kgのため届出不要
省エネ法	事業者を「特定事業者」として国が指定 （使用量の合計が原油換算で1500kℓ以上）	—	800kℓ以下の為該当しない
自動車NOx･PM法	大阪府・千葉県 共に解除の為該当しない		

2）遵守状況：上記環境関連法規等の一覧表及びそれらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規等への違反はありません。
また、法律違反、訴訟及び苦情もありませんでした。尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去10年間以上ありません。

8．代表者による全体評価と
見直しの結果・指示

代表者が前述の通り、エコアクション２１全体の
取組状況を評価し全般的な見直しを行った結果、
下記内容の改善指示がありました。

生産性の向上を図る為、停止率の減少を推進すること。

**化石燃料の削減を図るため、加熱炉、熱処理炉の
効率稼働(安定稼働)を図ること。**

環境配慮型製品の量産に努め、市場に浸透させること。

ＳＤＧｓを意識したエコ活動を全従業員で更に進めること。

工場周辺、工場内の美化を図ること。

有害性物質の削減に取り組むこと。

環境経営方針	変更なし
環境経営目標・計画	一部変更
実施体制	変更なし

2025年12月25日　古林 達也






我々は、この地球を将来にわたって守っていく為に
バランスの取れた循環型社会を構築していく必要があります。

私達　古林工業は

「事業活動のあらゆる分野において、資源を大切にし
自然及び地域環境との調和と向上を図る」

の理念のもと、さらなる環境改善活動を図ってまいります。



古林工業株式会社

ＵＲＬ　http://fkkjp.com